大腸EMR（大腸内視鏡的粘膜切除術） を受ける方へ

患者氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 様

※この用紙は入院時に必ずお持ち下さい。

症状説明：大腸にポリープがあり、諸検査の結果から静脈麻酔下で、
内視鏡を使用して切除する手術を行います。入院期間は約2日間です。

退院基準 ： 食事摂取後も腹痛・出血・発熱がない

	外来（　　/　　）	入院日当日（　　/　　）午前	入院日当日（　　/　　）午後	手術後	退院日（　　/　　）
検査・治療・処置	●血液検査 ●心電図 上記の検査を行います	●入院時に検温に伺います ●下剤服用後、排便状態を看護師に見せてください 状態により追加処置（大量のお湯で腸内洗浄）をさせて頂きます ●治療前にすぐに点滴を始められるように 午後から右手に針を留置させて頂きます	●排尿を済ませて下さい ●内視鏡室で術衣に着がえて頂きます 治療中（内視鏡）では ●体の向きを変えたり、大きく深呼吸をしてもらうことがあります。 ●担当の医師、看護師が常に状態を観察しています。 腹痛や気分が悪くなった際は、遠慮せず、声をかけて下さい。 ●状態によっては痛み止めなどのお薬を使います。	●治療後は医師の指示により 車いすまたはストレッチャーにて 病室までお迎えにあがります ●内視鏡室で、パジャマに着がえてから病室に戻ります	●朝6時～7時頃採血に伺います ●退院が決定し、昼食摂取後異常がなければ点滴の針を抜きます
薬剤	●現在服薬中のお薬がありましたら お知らせ下さい ●中止にするお薬があれば、 お伝えします ●入院前日の眠前（夜9時頃）に 下剤(センノシド2錠など)を服用して下さい	●朝6時頃に中止されているお薬以外の朝の薬をお飲みください ●持参されたお薬がありましたら看護師に教えて下さい ●朝10時頃より下剤を飲んで頂きます 下剤の服用方法はパンフレットを 参考にして飲んで下さい 		●本日は点滴が3本あります ●持参されたお薬は医師の指示があれば服用していただいてかまいません 	
安静度 リハビリ テーション	●制限はありません	●病棟内は自由に歩いて頂けます		●帰室後より翌朝、医師の診察までは 床上安静ですが、トイレ歩行は 可能です ●本日は入浴出来ません	●医師が診察後、異常がなければ 普段通りの生活ができます
全身管理				●出棟時・帰室直後・1時間後・21時に 検温に伺います ●腹痛・嘔気・嘔吐・腹部膨満感など 不快な症状があればお知らせ下さい	●朝6時・10時頃検温に伺います
食事・ 栄養管理	●前日は食物繊維の多い食べ物 （野菜・ キノコ・豆類・海草など）や脂肪分の多い物・ 小さな種のある果物はお避け下さい ●夕食は、夜7時～8時頃までにお済ませ下さい	●終日絶食になります	●終日絶食です	●終日絶食です ●帰室後より翌朝9時まで500cc程度 まで番茶・白湯・スポーツ飲料は飲むことができます	●採血の結果でお昼より食事開始 となります （全粥・軟菜）
説明・指導・教育	●医師より治療の説明があります ●承諾書・入院申込書並びに身元引き受け書を 入院日までに記載して下さい ●500mlの水3本をご用意下さい。	●病棟内の案内があります ●入院申込書並びに身元引受書を承諾書と、 普段飲んでいるお薬と、お薬手帳を提出して下さい ●薬剤師が薬の説明に伺います	●出棟時に、時計・眼鏡・指輪・ ヘアピン・コンタクトレンズ・ ネイル・マニキュア・化粧・義歯・ ピアスなどはお取り下さい		●昼食後、痛みなどがなければ 昼2時頃退院となります ●退院時に食事・運動について、 説明させて頂きます （2枚目参照）

退院後の生活について

過労や精神的な緊張は潰瘍の治りを遅らせることがあります。十分な睡眠をとり、規則正しい生活を送りましょう。

退院後、2週間は以下のことに注意して下さい。

食事・飲み物

・主食・主菜・副菜のそろったバランスのよい食事にしましょう。
・食べ過ぎないように腹八分目にしましょう。
・ゆっくりよく噛んで食べましょう。
・煮る・蒸す・茹でる調理を中心とし、揚げる・焼く調理は避けましょう。
・野菜などは生で食べるより火を通した方が消化がよくなります。
・繊維の多い物・油の多いものは消化に時間がかかります。
・食後はゆっくり休みましょう。

お酒

・アルコールはキズの治りを遅らせますのでひかえましょう。

たばこ

・たばこはキズの治りを遅らせますのでひかえましょう。

仕事

・デスクワークは可能ですが、力仕事は避けて下さい。
→おなかに強い力がかかると、出血する危険性があります。
・出張は避けてください。
→万が一の出血などの可能性も考え、避けましょう。
出血（便に血がまじる）がみられた時は、当院に受診しましょう。

活動

・散歩など適度な運動は可能です。
・血圧があがるような激しい運動はやめましょう。
・重労働・重い荷物を持つなども禁止です。
→おなかに強い力をかけると偶発症状（熱や腹痛など）が
出現する可能性があります。
・トイレの際は、あまりいきまないようにして下さい。

入浴

・入浴は退院日はシャワー浴のみ可能です。
・入浴は退院翌日から可能です。

☆高熱や腹痛・出血するようなことがあれば、病院に連絡をお願いします。

075－391－5811（代表）
京都桂病院

お大事に